



富良野市教育委員会学びのまち推進課学びのまち推進係
電話 0167-39-2318 文責：上 用 眞一郎



「春の遠足」無事終了！この当たい前に心から感謝！！

6月2日（火曜日）5時少し前の十勝岳連峰です。これはビートの苗でしょうか。朝陽を浴びて元気に育っているようです。

富良野の最高気温は 30.8℃、麓郷も 30.2℃と真夏日となりました。

今日は、休暇をとって妻と札幌へ行って来ました。「道展」の作品搬入日、札幌市民ギャラリーまで片道2時間半のドライブでした。



さて、先週は、春の遠足で道立旭川美術館に行ってきました。岩合さんの写真展「世界ネコ歩き2」はどうでしたか。私はリオの海岸で日光浴をしている猫がなんとも人間的で面白かったです。こんな感じ。



デレ…なかなか面白

自由気まま・好奇心旺盛・警戒心と独立心が強い・ツンデレ…なかなか面白い性格をしています。

久しぶりのバスの旅、話も弾みました。ランチタイム、コーヒータイム、夕食のお惣菜やお土産のドーナツも買ったようです。事故やケガもなく、お陰さまで無事に学年の枠を超えた交流ができました。バスの運転手さんに感謝、事前準備をしてくれた自治会役員の皆さんに感謝です。ありがとうございました。



新 緑 と 深 緑 とのあいだ

新緑と深緑のあいだの季節、麓郷で過ごすこの短くも美しく燃える緑の時間が好きです。

この季節の色は、春の花が終わり、夏の花へと移り変わる移ろいの色とでもいうのでしょうか。

朝露をまとった葉の輝きには、春の透明感と夏の生命力が同時に宿っています。一年の中でもほんのわずかな期間しか見られない、特別な表情です。

特別な時間と言えは、皆さんはご存じですか。

次の写真ではちょっと見えづらいですが、ホプシーと言って、マツ科ではなくトウヒ科、クリスマスツリーの仲間ですが、その木の先端に図のような赤いものがたくさんついていま



した。もしかして赤い実なのだろうかと調べてみると「若い松ぼっくりの赤ちゃん」ということを知りました。驚きです。この季節に松の木に、空に向かってたくさんの赤い松ぼっくりを発見したのは初めてです。皆さんの家の周りはどうですか。

12年経ったホプシーですが、この赤い花が咲くためには次の3つの条件が必要です。

- ① 樹木が十分に成熟した（大人になった）：花を咲かせるエネルギーを持つ
- ② 前年の夏に「日照りが多かった」：昨年の夏に日光を浴び栄養を蓄えた
- ③ 数年に一度の「なり年（豊作年）」のサイクル：針葉樹には、エネルギーを蓄えて一斉にたくさんの実（松ぼっくり）をつける「なり年（マスティング現象）」という周期があるそうです。毎年同じように咲くのではなく、条件が揃ったタイミングの年は大豊作を迎えると



ということです。実は、このマスティング現象ですが、地球温暖化による影響で、山の生態系全体に大きな影響を与えているそうです…マスティング現象、実は大変興味深いことが分かりました。これからいろいろと調べてみたいと思っています。



本日、6月3日(水)

AM：クラブ学習3 PM：少年の主張大会

- 8時50分 当番学年（大学院1年・大学院2年）机・椅子の配列、配布物、出席簿
- 9時30分 朝の集い
- 9時50分 クラブ学習の準備（ふれあいセンターへは事務局が送迎します。）
- 10時00分 クラブ学習3 開始
- 12時00分 クラブ学習3 終了 昼食 休憩 サンエーホールに移動します。
- 13時00分 少年の主張大会の受付は、事務局で行いますので、ことぶき大学の皆さんは受付なしで客席にお座りください。
- 13時30分 「少年の主張大会」
市内の中学生11名の主張発表、講評、結果発表、表彰
(15時00分 学習時間の終了。山部行きのバス時刻です。)
- 16時00分 終了予定

次回、6/17(水) 第2回 “ザ・運動会 2026”

- 08時30分 自治会役員集合 富良野スポーツセンター
- 09時30分 学生集合 受付 くじ引き チーム編成
朝の集い 作戦会議
- 10時00分 開会式（高校生紹介・校歌斉唱・大会長挨拶・選手宣誓・審判長注意・ラジオ体操）
- 10時20分 午前部 競技開始
- 12時00分 昼食 2階客席 休憩
- 13時00分 午後部 競技開始

14時10分 閉会式（成績発表・優勝トロフィー授与・副大会長講評・集合写真撮影）

14時30分 解散 バス時刻

持ち物：上靴、タオル、お水など各自必要なものを持参してください。



お知らせ NAVI

1. 運動会及び三市町交流パークゴルフ大会の参加体制の確認

5月27日（水）春の遠足の際に第一次集約をしましたが、休まれた方もいますので、各学年で参加の有無を確認して事務局に報告してください。

本日、運動会のお弁当を発注します。

2. 自治会主催パークゴルフ大会のご案内 6/24 午後1時30分～

恒例の自治会主催「パークゴルフ大会」を6月24日（水曜日）午後1時30分から北の峰総合公園パークゴルフ場で開催します。7月2日（木）の三市町交流パークゴルフ大会と同じ会場ですので、事前練習にもなります。賞品も用意していますので、是非参加してください。

3. 自治会役員会を開催します。6/10（水）10時～図書館3F

- ① 運動会、自治会主催パークゴルフ大会、三市町交流パークゴルフ大会の準備
- ② 「春の遠足」の反省と「夏の研修旅行」についての打ち合わせ会議を予定しています。
6月10日（水）10時からを予定。よろしくお願いします。

Tea Time

麓郷の空へ走る君たち 正に冬の精神



2年後に閉校を控えた麓郷小中学校の子どもたち。まだ冷たい風の吹く麓郷のグラウンドで、力強くよさこいを踊っていた。

その姿を見たとき、ふと、現役の頃、何かに引用した言葉を思い出した。調べてみるとそれは19年前の4月5日の入学式の式辞だった…

★ エドワード・サイードの「冬の精神」

「孤立を恐れずに逆風に向かい、熱狂や集団思考から遠ざかる。冬の精神が受け継がれたとき初めて次の時代の新しい物語が見えてくると、いつも仲間に気を配り、集団で思考する生き方からは新しいものは見えない。心地良いものの境界を超えて冬の精神を持て」と、

「春が近づく気配を予感しながら希望の季節をただ待ち続けるのではなく、あえて寒風に身をさらす。今が困難な時代だからこそ、厳しい冬の精神を持たなければならない」…

これは、エドワード・サイード (Edward Said) の言葉です。

彼は世界的に極めて重要な足跡を残したパレスチナ系アメリカ人の比較文学研究者・思想家です。

★ 「冬の精神」とは何か

サイードは、人々がひとつの意見に同調し、お互いに「そうだよね」と慰め合っているぬくぬくとした状態を「春や夏の精神」と呼びました。それに対して、あえてその心地よい集団（ぬくもり）から一歩外に出て、孤独の中で冷徹に世界を見つめる態度を「冬の精神」と名付けた。

★ サイードの警鐘

「熱狂や集団思考から遠ざかる」・・・人間は集団になると、間違った方向であっても全員で熱狂し、思考を停止してしまう（ナショナリズムや戦争、いじめなどがその典型です）。

サイードは「みんなが同じ方向を向いて熱狂しているときこそ、そこから距離を置け」と強く主張している。

「いつも仲間に気を配り、集団で思考する生き方からは新しいものは見えない」・・・身内だけの「心地よい関係」や「空気を読むこと」に必死になっている精神からは、世界を本当に変えるような批評やアイデアは生まれないという意味。

「希望の季節をただ待ち続けるのではなく、あえて寒風に身をさらす」・・・「いつか良い時代が来るさ」とぬくぬくした部屋で待つ態度を捨て、今という厳しい時代（冬）に、自ら身をさらして当事者として苦悩し、考え抜くこと。その厳しい冬を生き抜いた精神だけが、本当に新しい「次の時代の物語（春）」を自らの手で手に入れることができると

★ 麓郷の子どもたちの姿と「冬の精神」

麓郷小中学校の運動会…2年後の閉校を控えた子どもたちは、内心は語らずとも、元気に誠実に、楽しく、まだ冷たい北風が吹くこの土地で、力強くよさこいを踊っている。

あの光景が正に「冬の精神」そのもののように感じたのです。彼らの心は無の世界、無とは世界中のすべての不安や不信、困難を浄化させた純粹で透明な世界である。

妻は、ここ2ヶ月、麓郷の子どもたちを妖精に見立て制作に没頭。

妻と麓郷の子どもたちとの出会いは、年を越えて純粹だ。

あえて言えば、彼らは“春と夏の精神”をまとっていると…

若い若い若い麓郷の15人の子どもたちに会ってほしい。

